

平成25年度「すぎなみ大人塾」開講記念講演会

平成25年10月27日（日）

「高円寺発！バロン流楽しさ発見術」

挨拶

杉並区教育委員会事務局生涯学習推進課長

濱美奈子

お天気の良い日に、ご参加頂きましてありがとうございます。本日、セッション杉並に来ていただいたわけですが、すぎなみ大人塾のことを知っている方、知らない方、いろいろな方がいらっしやっていると思います。すぎなみ大人塾は、「自分を振り返り、社会との繋がりを見つける大人の放課後」というモットーを元に、毎年開催しています。学校のように知識を学ぶ場というよりは、地域とつながる一步を作るきっかけ、地域へのつながりに一步踏み出せない時に踏み出す勇気をくれる場所です。また、自分を発見して頂くことをテーマに開講しています。学んだことを地域に還元してもらいたいと思っています。友人、仲間、家族にご自身が学んだ方を還元して頂ければ、楽しく暮らせます。また、楽しさやつながりが広がると杉並区ももっと良くなりますし、自分自身もさらに楽しくなりますよね。地域の活動や地域のつながり作りは、楽しくなければつづきません。すぎなみ大人塾をキッカケに、楽しさを見つけて頂けたらと願っております。本日は、「高円寺発！バロン流楽しさ発見術」と題してバロンさんに楽しさの見つけ方を教えて頂きます。それでは、本日はどうぞよろしくおねがいいたします。

講師 バロン（BARON） ボードピリアン

1978年生まれ。学生時代にオーストラリアで出会った大道芸人、スタンダップコメディアンに多大な影響を受ける。2000年上京後、現在のボードビルスタイルになる。ライブのほかにもCM音楽の制作や手作り楽器のワークショップ等も行い、音楽やパフォーマンスを観るだけではなく、参加する楽しさを伝えている。また、杉並区では高円寺びっくり大道芸や高円寺フェスへの出演をはじめ、全国行脚の傍ら、被災地支援活動にも力を入れている。（阿佐ヶ谷在住）



ボードビリアン バロン

♪メロディーとともに本日の講師 ボードビリアン バロン登場



阿佐ヶ谷から高円寺に至る道を歩く歌（チロチロリン）

イラストは、小池アミイゴ。

商店街の街並み、通りで気づいた人、看板、途中で出会った猫のイラストをバックに歌が続きます。

♪続いて開幕の歌。声で楽器の音を出しながら、中央へ。

ボードビリアン バロン

バロン流楽しさ発見術♪楽しさ発見術♪今鳴らしているのは、トロンボーンです。さあ、一緒に！ボボボボーン♪次は、トランペットをやってみましょう。プップー♪アヒルのマネから音をだすと良いですよ。プップー♪さあさ！ボードビル！はじまりはじまりー！

みなさん、こんにちわ。ボードビリアンのバロンです。台風直撃とっていましたが、すごく晴れましたね。みなさんにお会いできてうれしいです。今日は、本当に近所からやってまいりました。阿佐ヶ谷からやってきたんですよ。これからは高円寺にも向かいます。ご近所で活動しておりますが、今日の講座は「高円寺発！バロン流楽しさ発見術」。ボードビリアンと名乗っていますが、講師と呼ばれたことはないんです。

でも、僕なりに楽しさを伝えられたらと思います。こんなことをしていると、なんとかお客さんを楽しくしたいと日々考えています。みなさんも、ご家族や友人を楽しくしたいと思ったことはありませんか？今日は、変わった靴を履いています。タッタッタ♪ステップをすると音が鳴りますね。学校のクラスに落ち着きない子供っていませんか？僕もそのようで、しゃべっていても身体が動いてしまうんです。タッタカタッタ♪そう、タップダンスです。今日はタップシューズを履いているんです。歩いていると音がでます。信号待ちをしている時やホームでもステップを踏んでいるので、変な人だなと見られることもあります。



リズム遊びをしたいです。ハイといたら、手拍子をお願いします。そのまま、ハイハイ。ポンッポン♪「ふりむいて笑ってみなよ、さあさ、こっちをみなよ。あとすこし振り向いてくれたら♪」(3曲目 Shine)

手拍子ありがとうございました。「シャインシャイン輝け」という歌でした。歌ったり、音楽があると雰囲気があったかくなりますよね。音楽の力です。僕はウクレレをひいています。弦楽器の中で最も小さい楽器です。弾ける方はいらっしゃいますか？一時期ブームにもなりましたね。

こんなに小さいので、すぐに倉庫に締まってしまう方もいますが、僕はどこにでも持っていきます。たまに弾かずに帰ってくることもありますが、必ず持っていきます。ウクレレのワークショップもやっていますが、いつも教える曲があります。ウクレレのコードにCがあります。薬指で、ここをひくのがCです。G7とFの3つでできる曲です。これができると、隣近所の人、大切な人を幸せにできます。それでは、弾きますよ。「ハッピーバースデイトゥーユー♪ハッピーバースデイトゥーユー♪」今日、誕生日の方はいらっしゃいますか？では、みんなでハッピーバースデイトゥーユーと歌いましょう。この曲を覚えるだけで、誰かを幸せにできます。

僕はボードビリアンとしてずっとやっています。もう10年になります。若い時に、オーストラリアのメルボルンで学生をしていました。そのころは、ジャーナリストになろうと思っていました。町にでると、必ず音楽がありました。多民族国家なので、スペインの方がギターをひいていたり、アボリジニーの方言笛をしていたり。そんな町で、1人のおじいちゃんに出会いました。町の通りで、タップダンスをする姿を見て、「あ、自分はこれになる」と感じたのです。ジャーナリストの道を辞めて、こっちの道にきました。帰国後に、劇団に入って、素晴らしい師匠の元、6年間タップダンスやジャグリング、パントマイムなどを学びました。一通りの芸を身に着けた時に、「じゃあ、このスタイルはなんだろう」と思ったのです。昔の芸人さんは、舞台にあがったら何でもできなきゃいけませんでした。歌や踊り、話芸はもちろんです。昔は、こういう芸人のことをボードビリアンとよんでいました。日本だと、エノケンさんが有名ですよ。ボードビリアンとして生きていこうと決め、最初は、路上からパフォーマンスを始めました。22歳の時です。高円寺には芸人やミュージシャンが多いですよ。高円寺は、そんな若者をうけいれてくれる本当にステキな町です。

#### ボードビルとは

1920年代の欧米で大流行した歌と踊りや楽器で綴るコメディバラエティショー。チャップリンやマルクス兄弟などたくさんのボードビルスターが輩出されました。日本では、浅草ロックで活躍したエノケンが有名。

舞台上で一番大切なのは、お客さんとの間の壁をとることです。でも、パントマイムの学校で習ったのは、お客さんの間に壁をつくることでした。では、ちょっとだけパントマイムをやってみませんか。身体の前に手を出すと、あら、壁ができてしまいましたね。では、座ったままでやってみてください。お風呂の水面をさわる感じで、指をのばして。それをそのまま、前に。上にも壁を作ってみましょう。身体をうごかすと、横になります。こちらからみると、皆さんいい顔していますよ。横にも壁がありますよ。あれ、斜めになっていませんか。壁がせまってきましたが、ドアをつくって脱出です。よくできましたー！



芸人に大事なことの1つは目立つこと。ウクレレやパントマイムもやっていますが、夜になると肌寒いので見た目が暖かい楽器をだしてきました。湯たんぽです。この中にお湯をいれて演奏すると身体も暖かい…それは嘘ですよ。これはチャンキドラムといいます。では、チャンキ音頭をひとつ。

「チャンキリズムはウキウキリズム、いつでもどこでもチントンシャン♪」  
このチャンキドラムは、すぐ作れますよ。まず、湯たんぽ。木の枠をつくって、湯たんぽを固定させるだけ。次にシンバル。パフパフ♪合羽橋で買った計量カップ、ネット郵便屋さんのベル。カウベルと呼ばれています。ウッドブロ

ック、パーカッションです。全部で2万5千円くらいです。

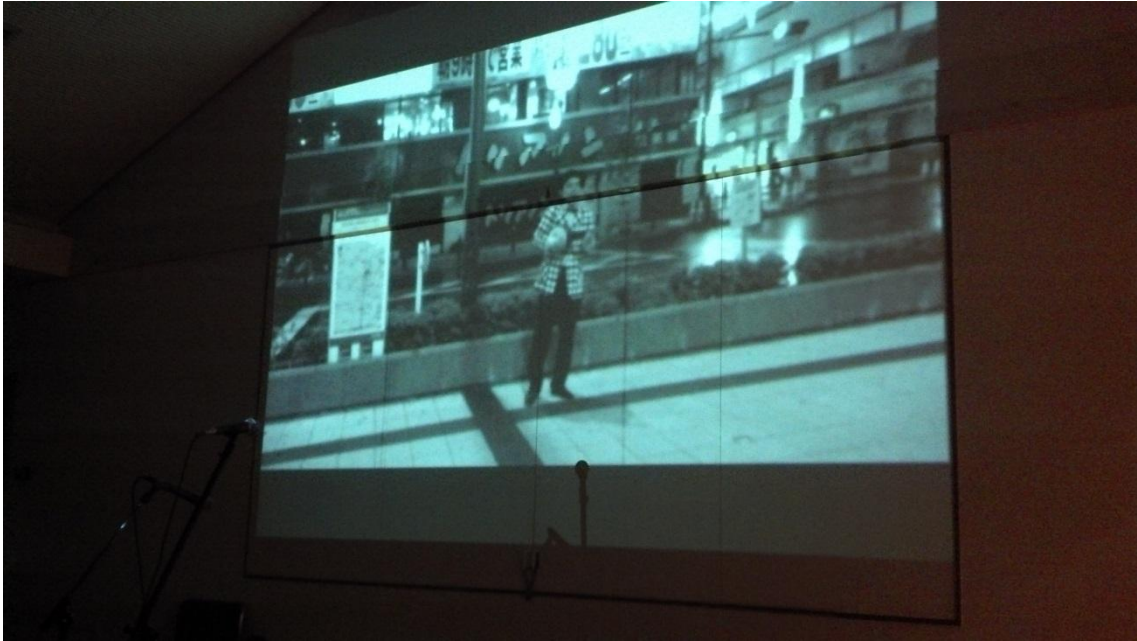
余裕があれば、作ってみてください。チャンキドラムでした。楽しいことは日常にあふれているんです。身の回りのもので楽しいことってできるんだなと思うと、ボードビルの幅がひろがりました。もっと身近にあるもので、なにができるでしょう。今日はスプーンという楽器をもってきました。裏同士をあわせて、こうするとカスタネットみたいな音がでます。カララッカララッ♪

僕は音楽が大好きです。「ひとつくち食べると思い出す♪バナナー♪」

(5曲目 Banana)楽しさを発見して帰ってもらいたいです。では、こちらの方、ウクレレをお持ちください。こちらの方にはパーカッションシェイカーを。振るだけやってもらってよいです。いいですねー！セッションができています。



前半の最後に、映画を見て頂きたいです。自分が創った映画です。ボードビリアンとして活動しているなかで、いろんなミュージシャン、芸人にあいました。夢を追いながら頑張っていますが、なかなか大変です。そんな映画です。タイトルは「星になった男」



「夢をみるのさ、すてきな夢を♪」

せっかくなので、いろんな場所で活動している様子を見ていただきたいです。とくに東北によく行っています。初公開の写真になりますね。宮城県の気仙沼に近い仮設住宅です。3月ですが寒かったです。楽器一式を持って行って、みんなで歌を歌いました。



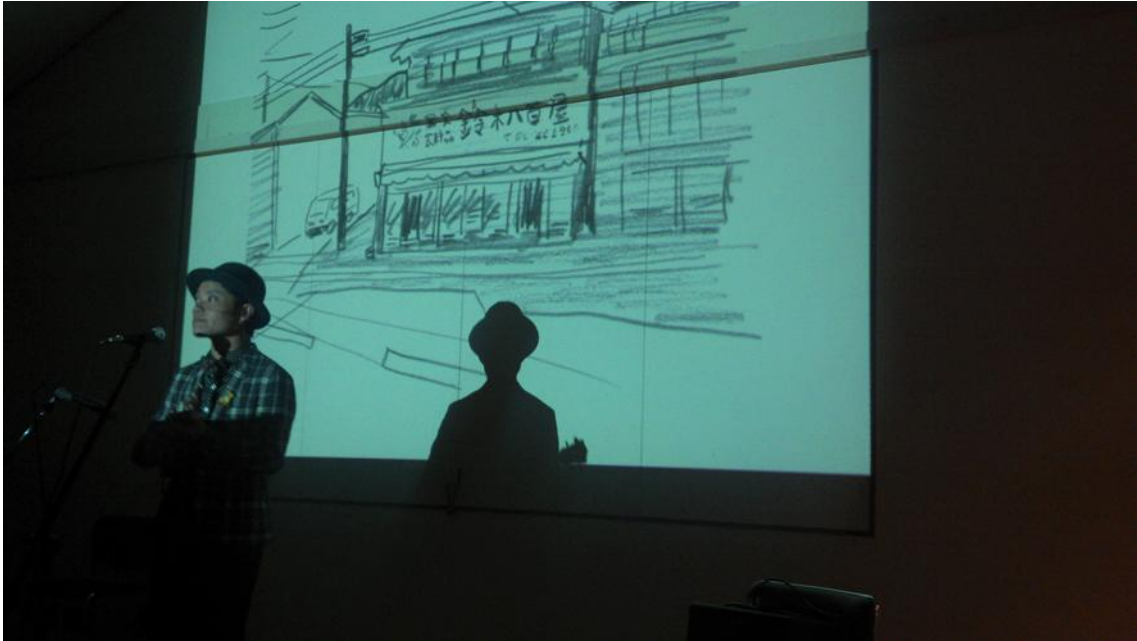
仮設住宅は高齢者の方が多くて、若い人は働きにでていました。唐桑という場所です。心のケアということで、お話したり、歌を歌ったりしましたが、こちらでも色々なことを学ばせてもらいました。折り紙が得意な人が行ったのですが、もっと上手いおばあちゃんに会って教えてもらったり。復興マルシェという市場では、電気はないので、自家発電でマイクの電気をとりました。どれくらいの人があるのか、わからなかったんですが、子供たちがどこからか集まってくるので、だんだん人だかりもできました。福島では、チャンキドラムを作るワークショップをしました。みんなで作って、最後に演奏をしました。こういう仕事をしているので、元気にしたいという気持ちもありますし、自分も考えることが多かったです。古い曲、自分の曲を歌いました。でも、一番反応が良かったのが、この曲でした。母親が好きだった歌です。



「愛、燦燦♪」

最後に、小池アミイゴさんが描かれた東北のスケッチをみながら、一曲聴いてください。





「Rock steady」

あっという間の2時間でした。秋晴れの日、すぎなみ大人塾講演会にお越ししいただき、ありがとうございます。高円寺発、中野ブロードウェイ経由、バロンでした。どうもありがとうございました！楽しさを発見できましたでしょうか。自分の中の殻を破るのも大事ですが、人の前で踊り出す、手拍子を叩く。そんなことから、始めてみるのも良いですよ。足で拍子を取ってみましょう。できますか？やってみましょうー！タンツタンツドン♪バラバラですね。もう1回。いきますよ。「今ならジャンプできるだろう♪」最後ですよ。ワンツーさんはい！タンツタンツタン♪よくできましたー！ありがとうございました。また、路上で劇場でお会いしましょう。